

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 07220522
PUBLICATION DATE : 18-08-95

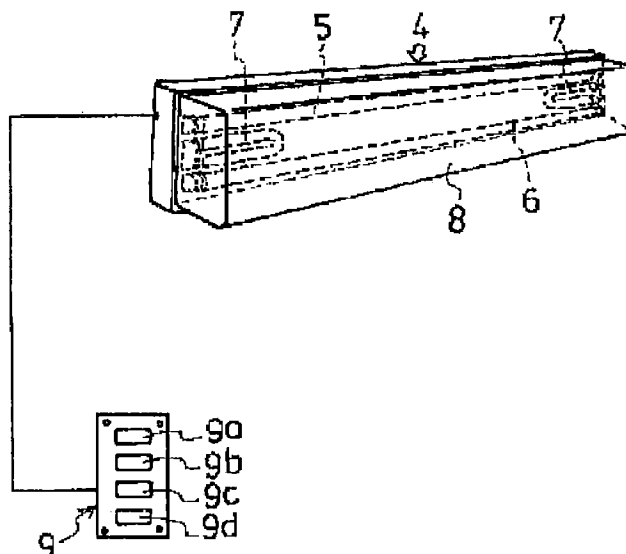
APPLICATION DATE : 04-02-94
APPLICATION NUMBER : 06012603

APPLICANT : KAJIMA CORP;

INVENTOR : YAMAGUCHI HIROYOSHI;

INT.CL. : F21V 33/00 A47K 1/02 F21S 7/00

TITLE : LIGHTING SYSTEM FOR MAKE UP



ABSTRACT : PURPOSE: To provide illumination fitting for the environment where a person wants to visit so as to put on make up near the condition of the environment by combining illuminating lamps having different color tones as a luminaire corresponding to a make up mirror, and arranging a switch for turning on and off each illuminating lamp.

CONSTITUTION: When a person wants to go outside, a switch 9a is pressed to turn on a natural color fluorescent lamp 5. Illumination near the sunshine is obtained and environment near the outdoors is realized. When a person wants to go to a relatively bright place even in the inside of a house, a switch 9b is pressed to turn on an incandescent color fluorescent lamp 6. When a person wants to go to a relatively dark place even in the inside of a house, a switch 9c is pressed to turn on a incandescent lamp color U-type fluorescent lamp 7. The incandescent color fluorescent lamp 6 and the incandescent lamp color U-type fluorescent lamp 7 are usually used as indoor illumination, and suitable to produce indoor environment. Since the fluorescent lamp 6 is brighter than the fluorescent lamp 7, they can produce illumination fitting for the environment where a person wants to visit.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-220522

(43) 公開日 平成7年(1995)8月18日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
F 2 1 V 33/00		K		
A 4 7 K 1/02				
F 2 1 S 7/00		Z		

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平6-12603

(22) 出願日 平成6年(1994)2月4日

(71) 出願人 000001373

鹿島建設株式会社

東京都港区元赤坂1丁目2番7号

(72) 発明者 三宅 優子

東京都港区元赤坂一丁目2番7号 鹿島建設株式会社内

(72) 発明者 山口 博由

東京都港区元赤坂一丁目2番7号 鹿島建設株式会社内

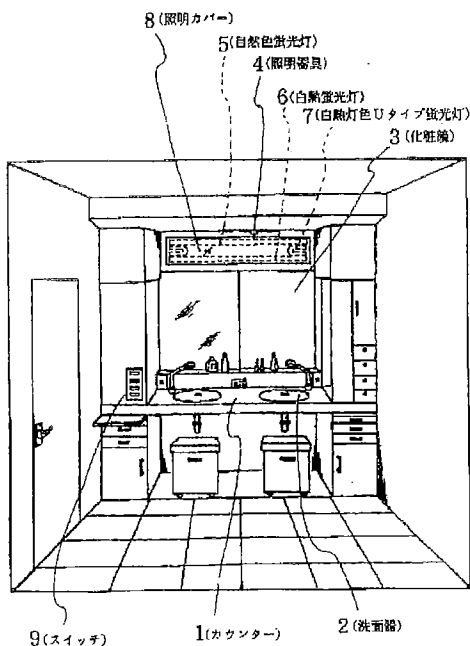
(74) 代理人 弁理士 久保 司

(54) 【発明の名称】 化粧用照明装置

(57) 【要約】

【目的】 出向く先の環境に、より見合った照明を得て、その場所のコンディションに近い化粧を行うことができる。

【構成】 化粧鏡3に対応させる照明器具4として、該照明器具4は自然色蛍光灯5、白熱色蛍光灯6、白熱灯色Uタイプ蛍光灯7など色調の異なる照明灯を組合わせ、各照明灯の点灯・消灯を切り換えるスイッチ9を付設した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】化粧鏡に対応させる照明器具として、該照明器具は自然色蛍光灯、白熱色蛍光灯、白熱灯など色調の異なる照明灯を組合わせ、各照明灯の点灯・消灯を切り換えるスイッチを付設したことを特徴とする化粧用照明装置。

【請求項2】照明器具は、さらに、同一色調の照明灯でも、照度の小さい蛍光灯と照度の大きい蛍光灯とを組み合わせる請求項1記載の化粧用照明装置。

【請求項3】照明器具は、照度可変の照明灯を組み込む請求項1記載の化粧用照明装置。

【請求項4】照明器具は、複数の照明灯を同一の照明カバー内に配置し、一個所のスイッチ群で操作する請求項1乃至請求項3記載の化粧用照明装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、化粧用照明装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の洗面化粧台等の化粧用照明装置は、蛍光灯や白熱灯など種類の照明灯を設けたものがほとんどである。

【0003】ところで、女性が化粧をする場合はこれから出向くのに昼間や夜間等の時間、および屋内、屋外等の場所、さらに、目的によりその化粧の濃淡、色合いを調整しているのが現状である。

【0004】しかし、前記化粧用照明装置での化粧作業は照明器具により化粧コンディションが外出先の現場に合わなくて苦労することが多い。

【0005】実開平2-34020号公報（実願昭63-112973号）では、照明器具の明るさを調整可能な調光装置を設けた洗面化粧台が提案されている。これにより、照明器具の明るさを調光装置で調整して外出先の明るさに合わせるようにすることができ、外出先で映える化粧を容易に行うことができるようにしたものである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この実開平2-34020号公報（実願昭63-112973号）のものは明暗のみの調整を行うものであり、屋外と屋内の相違など色調の異なる環境の相違については配慮されていない。

【0007】本発明の目的は前記従来例の不都合を解消し、出向く先の環境に、より見合った照明を得て、その場所のコンディションに近い化粧を行うことができる化粧用照明装置を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は前記目的を達成するため、化粧鏡に対応させる照明器具として、該照明器具は自然色蛍光灯、白熱色蛍光灯、白熱灯など色調の異なる照明灯を組合わせ、各照明灯の点灯・消灯を切り換えるスイッチを付設したこと、および、照明器具はさ

らに、同一色調の照明灯でも、照度の小さい蛍光灯と照度の大きい蛍光灯とを組み合わせること、もしくは、照明器具は、照度可変の照明灯を組み込むこと、さらに、照明器具は、複数の照明灯を同一の照明カバー内に配置し、一個所のスイッチ群で操作することを要旨とするものである。

【0009】

【作用】請求項1記載の本発明によれば、自然色蛍光灯は屋外の太陽光線に近いものであり、白熱色蛍光灯や白熱灯は屋内の通常照明に近いものである。そこで、屋外用に化粧をする場合は、自然色蛍光灯を点灯し、屋内用に化粧をする場合は、白熱色蛍光灯や白熱灯を点灯すれば、出向く先のコンディションに近い環境が得られる。

【0010】請求項2および請求項3記載の本発明によれば、色調の他にさらに同じ屋外でも昼間と朝夕、夜間など時間帯による明るさの相違、同じ屋内でも、太陽光線の取り入れ程度や照明の多少などによる明るさの相違を考慮して、出向く先の環境に合わせた明るさを設定でき、これに合わせて化粧をすることができる。

【0011】請求項4記載の本発明によれば、前記作用に加えて、照明器具は、複数の照明灯を同一の照明カバー内に配置するので、場所を取らないで済み、また、どの色調の照明灯を選択しようとはほぼ同じ位置から照明を得ることができる。さらに、各照明灯の点灯・消灯を切り換えるスイッチは一個所にあるのでこれら色調の照明灯を選択するのに迷わずに簡単に行うことができる。

【0012】

【実施例】以下、図面について本発明の実施例を詳細に説明する。図1は本発明の化粧用照明装置を備えた洗面化粧台を示す正面図、図2は本発明の斜視図である。

【0013】洗面化粧台は、通常、カウンター1に設けた洗面器2と、その後方に化粧鏡3を備えており、上部には照明器具4がある。

【0014】本発明の照明装置は、20wの自然色蛍光灯5と、20wの白熱色蛍光灯6および6wの白熱灯色Uタイプ蛍光灯7の組合せによるものとし、これらを同一のアクリルカバーによる照明カバー8内に配置して前記照明器具4を構成した。

【0015】また、これら色調や照度のことなる照明灯を点灯・消灯操作するスイッチ9は、これを一個所に纏めて設けた。図中9aは自然色蛍光灯5の点灯用スイッチ、9bは白熱色蛍光灯6の点灯用スイッチ、9cは白熱灯色Uタイプ蛍光灯7の点灯用スイッチ、9dは全てに共通する消灯スイッチである。

【0016】次に、使用法について説明すると、出向く先が屋外の場合は9aを押して自然色蛍光灯5を点灯させる。これにより太陽光線に近い光が照明として得られ、屋外に近い環境が得られる。

【0017】一方、屋内でも比較的明るい場所に出向くような場合は、スイッチ9bを押して20wの白熱色蛍

3

灯6を点灯させ、また、同じ屋内でも比較的暗い場所に出向くような場合は、スイッチ9cを押して6wの白熱灯色Uタイプ蛍光灯7を点灯させる。

【0018】白熱色蛍光灯6や白熱灯色Uタイプ蛍光灯7は通常屋内の照明として使用されるものであり、屋内の環境を作り出せるが、白熱色蛍光灯6は明るいものであり、白熱灯色Uタイプ蛍光灯7は照度が少なく暗いものであるから出向く先の環境に見合う照明となる。

【0019】図3は本発明の第2実施例を示すもので、20wの自然色蛍光灯5と、40wの白熱灯10を組み合わせて照明器具4を構成した。図示の例では白熱灯10は3個並べる。

【0020】また、この白熱灯10は調光により照度可変のものとし、スイッチ9は自然色蛍光灯5の点灯用スイッチ9a、白熱灯調光スイッチ9e、消灯スイッチ9dを一個所に並べてなる。

【0021】使用法は前記第1実施例とほぼ同じであるが、出向く先が屋外の場合は9aを押して自然色蛍光灯5を点灯させ、屋内の場合は白熱灯調光スイッチ9eにより白熱灯10を点灯させるが、出向く先の屋内の明暗に合わせてスイッチ9eにより白熱灯10の照度を調整する。

【0022】前記実施例は洗面器2と化粧鏡3とがある

4

洗面化粧台の場合について説明したが、洗面器2がない化粧鏡3と照明器具4との組合せの化粧場合でも適用できるものである。

【0023】

【発明の効果】以上述べたように本発明の化粧用照明装置は、出向く先の環境に、より見合った照明を得て、その場所のコンディションに近い化粧を行うことができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の化粧用照明装置を備えた洗面化粧台の1例を示す正面図である。

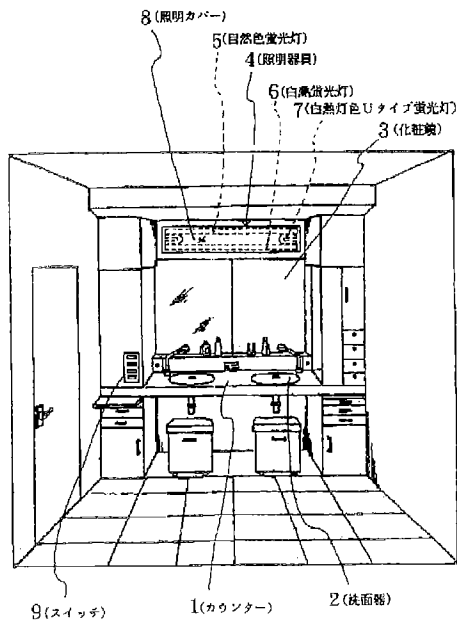
【図2】本発明の化粧用照明装置の第1実施例を示す斜視図である。

【図3】本発明の化粧用照明装置の第2実施例を示す斜視図である。

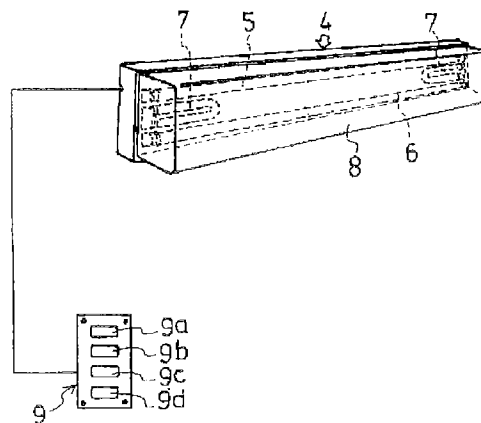
【符号の説明】

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1…カウンター | 2…洗面器 |
| 3…化粧鏡 | 4…照明器具 |
| 5…自然色蛍光灯 | 6…白熱蛍光灯 |
| 7…白熱灯色Uタイプ蛍光灯 | 8…照明カバー |
| 9, 9a, 9b, 9c, 9d, 9e…スイッチ | |
| 10…白熱灯 | |

【図1】



【図2】



(4)

特開平7-220522

【図3】

